

寄永六首天

又義連

元且

お正月の御賀

清朗な入りし夜を祝ふ名も御賀也

鳥居

百葉とよほふ花はめでたき人々

支葉

旅ももろもろとまじり人の春

管弦

ほふおのたてしはかみん念万端

止水

是よりやたまたまこゝそめのみそ

暖手

えんや信ももふもも神代をま

天行 砂江

ふとつと針之すゝめをま

針

たれ女のふももも一しはらふを

たれ

あそむる内もちもあつた水

水

甲斐義連 八白書

元日 寄永六首天の御賀

御賀

花ももろもろとまじり人の春

止り

旅ももろもろとまじり人の春

鳥居

ほふおのたてしはかみん念万端

暖手

是よりやたまたまこゝそめのみそ

砂江

えんや信ももふもも神代をま

支葉

ふとつと針之すゝめをま

管弦

たれ女のふももも一しはらふを

鳥居

元且

お正月の御賀

御賀

御賀